

会 議 録	
会議の名称	令和5年度第2回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和5年10月16日(月) 午前10時から午前11時まで
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 〔報告事項〕 (1) コミュニティバスの利用状況の推移について (2) 公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について 〔協議事項〕 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 〔会議資料〕 資料1 コミュニティバスの利用状況の推移 資料2-1 公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について 資料2-2 市民アンケート調査(案) 資料2-3 利用者ニーズ調査(案) 資料3-1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価の概要 資料3-2 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案) 資料3-3 令和5年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果概要(案)
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	前田委員、山田委員、林委員、佐藤委員、柴田委員、加藤(榮)委員、鬼頭委員、加藤(博)委員、宮川委員(代理)、石屋委員(代理)、荻田委員、小林委員(代理)、大島委員、毛利委員(代理)、河口委員、鈴木委員
欠席委員	吉金委員、多田委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画部企画政策課) 林課長、杉原課長補佐、神野課長補佐兼企画政策係長、秋山副主幹、深瀬主任、市江主任、八木主事 (株式会社日本海コンサルタント 社会事業本部計画研究室)

	塩土副本部長、備後サブリーダー
会議録署名委員	加藤（榮）委員、鬼頭委員
<p>1 開会</p> <p>（神野課長補佐兼企画政策係長） 皆さんおはようございます。 定刻となりましたので、ただいまから令和5年第2回清須市地域公共交通会議を開会します。 私は企画政策課の神野と申します。よろしくお願ひいたします。 それでは開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。 前田会長、よろしくお願ひします。</p> <p>（前田会長） 改めまして皆様おはようございます。 気候もやっと秋らしく感じるようになりました。 本日は令和5年度第2回清須市地域公共交通会議にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。 また日頃から委員の皆様には、本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただいておりますこと、大変ありがたく思っております。改めまして、お礼を申し上げます。 さて本日の会議ではレジュメにございますように、11月にあります、公共交通に係る市民アンケート調査等の実施についての報告と、地域公共交通確保維持改善事業の自己評価案が主な議題となっております。 皆様方には、どうぞ自由活発なご意見、ご発言をいただきますことをお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。 よろしくお願ひいたします。</p> <p>（神野課長補佐兼企画政策係長） ありがとうございます。それでは、本日の会議の出席状況について、ご報告します。 本日の欠席委員は、第4号委員で、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の吉金委員と、第5号委員で、名古屋タクシー協会専務理事の多田委員です。また、第3号委員で国土交通省中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官の宮川委員におかれましては堺様に、第4号委員で愛知県都市・交通局交通対策課担当課長の石屋委員におかれましては赤羽様に、第5号委員で愛知県バス協会専務理事の小林委員におかれましては栗木様に、同じく第5号委員でつばめユニオン委員長の毛利委員におかれましては加藤様に代理でご出席いただいております。 加えて、事務局といたしまして、本日の報告事項（2）で議題としております、公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について、アンケート調査の作成に携わっていただいております、株式会社日本海コンサルタントの塩土様と備後様にご同席いただいております。</p>	

皆様、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございませう。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の2点についてご協力をお願いいたします。

まず1点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

2点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいてからご発言くださいますよう、お願いいたします。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

2 議事〔報告事項〕(1) コミュニティバスの利用状況の推移について (2) 公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について

(前田会長)

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきます。よろしく申し上げます。

まず、はじめに 会議録署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、加藤（榮）委員と鬼頭委員にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が2件、協議事項が1件です。

まずは次第の順に「報告事項」についての議事を進めます。

それでは、報告事項（1）について事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料1を説明】

(前田会長)

ありがとうございました。

ただいま、事務局から報告がございました。ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(加藤副会長)

名古屋大学の加藤です。ほとんどコロナ前に戻ってきたっていうのはすごくありがたいことだと思います。他でもそこまでのデータはなかなかないので、とても頑張った結果なのかというのは、ちょっと聞くのは野暮というか、今ちょっと聞きませうけど、確認として、客層っていうか、お客さんがコロナ前とコロナ後の現在とで変わったのか、変わっていないのか。入れ替わりはあると思うんですけど、どんな人が乗ってるかっていうのは、傾向が変わっているのかどうか、そこをちょっとお伺いいたします。

(市江主任)

利用者の傾向といたしまして、利用される年代、例えば高齢者が多いとか若い人が多いとかはちょっと把握はできていないんですけども、やはりコロナ後に関しては、コロナ禍では、鉄道を利用して遠くへ出かけることを減らし市内の移動で完結されていた方が、コロナが明けて、駅を利用されることによって市外に出て行く方が増えたのかなってということが、鉄道駅の利用者数から推察できます。

(加藤副会長)

それって、外から来た人も考えられますよね。

中か外かで大きく違ってくるんですが、とにかく駅の利用が以前より多くなっているんで、そういう意味では乗り継いで利用される方が増えたけど中か外か分からないと。その辺というのは何か利用者アンケートとかをやってみて、ちょっと前を通っていないとちょっとあれなんですけど、現状どういうふうになってるのかっていうのが分かると、またそこに伸ばす要素があるのかなと思いますので、また考えたらいいかないかなと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。その他に、委員さん、よろしいでしょうか。

それでは、報告事項(1)については、終わります。

続きまして、報告事項(2)について、事務局から説明をお願いします。

(市江主任)

【資料2を説明】

(前田会長)

ありがとうございました。

ただいま、事務局から報告がございました。ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(山田委員)

山田です。ランダムに2,000人の方にアンケートをとるということですが、清須市は4町が合併しておりますので、町ごとに件数は割り振りはされているんですか。

(市江主任)

旧町別、年代別、性別で偏りが生じないように抽出しております。

(山田委員)

はい、ありがとう。

(宮川委員(代理))

愛知運輸支局の宮川の代理で出席している堺と申します。よろしくお

願いたします。

市民アンケートの中で、基本的に前に策定した公共交通計画と比較してっていうお話があって、おそらくバスロケーションシステムとか追加されたのかなと思われるので、第三者評価委員会のシートにもG T F Sの活用とかグーグルマップの紐づいてますよってのがあったので、こういったもの知ってますかっていうのも、市民の皆さんに聞いてみるのもいいのかなと思います。

(市江主任)

今、愛知運輸支局さんの方からご意見がありましたバスロケーションシステムやG T F Sの実際に利用しているかどうかの項目についてなんですけれども、ちょっと今回は調査票のページ数の関係で、省かさせていただいております。

今回は、地域公共交通計画のために行う調査であるんですけれども、このほかに、利用促進イベントの祭りでも、実際にベースに来ていただいた方にアンケート調査を行っておりますので、その時にまたプラスで、そちらの質問の方を入れさせていただいて、今後は状況把握に努めていきたいなと思っております。

(加藤副会長)

加藤です。今のに関連して、G T F Sって市民向けにどんな宣伝されてましたか。

大体これは宣伝してどうってよりは、適当に検索して出てきたパターンが多いと思うんですが。

(市江主任)

G T F Sの宣伝というのは、もう市のホームページのみで、特にこれといったものはないんですけれども、それと同時にグーグル検索ができるようになったっていうことは、ルート・ダイヤ改正のチラシに掲載しております。

(加藤副会長)

G T F Sを入れたことは、あまり意味がないですよ。それで、今おっしゃったように、グーグルで検索できるようになったことが本質ですよ。グーグルは使う人が多いので、検索をするとあしがるバスが出てくるので、むしろあしがるバスの存在がグーグル検索で分かってくるという逆のパターンかなと思います。他の乗り換え検索のところだと、検索に出てくるサイトが増えたとかがあるかもしれないが、グーグルの場合は逆なのかなと思います。これからは、グーグルであしがるバスの存在を知ったという人が出てくるんじゃないかなと思えるので、そこは、こういう市民アンケートとかではあまり取れないところかなと思うんですよ。なので、これはやっぱり利用者アンケートがいいと思ってて、利用者がどうやって時刻を調べて乗ったんですかという問いがあるかどうかが大事故かなと思ったんですけど、どうでしょう。

そこって興味深いところで、個人的にはG T F S化したことでどれく

らい利用が増えるとかあんまり信じてなくて、増えるかどうかより、情報提供手段として当たり前のことで、当たり前のことをして増えると思えないというか、やってないから確実に増えないとか減るよということかと思っていますんですよ。

でももしかすると、市の中では、いろいろ宣伝して知名度もあるということなんで知られているかもしれないけど、例えば名古屋の人だったらあしがるバスの存在はきっと全く知らないですよ。となれば、そういう方でも別に知らなくても勝手に検索されて出てこれば乗るっていう方がいるでしょ。なので、そういう実は外向けに非常に意味があるものってなると、市民アンケートだとなかなか出てこないかもしれません。

あるいは、実は自分たちは市民に対していろいろとアピールしてるつもりだったけど、実はあんまりアピールできてなくて、グーグル検索で初めて知ったという方も多くなるのかなと思うんですよ。ある意味では一種のメディア的なところがあるかなと思えるので、そこは「何でこれを知りましたか」っていう中に「グーグル検索で知りました」とか、そういうことが出てくるだろうなというのをちょっと思ったんで、それは特に利用者アンケートでチェックしておくといいかなと思ったっていう次第です。

(林課長)

企画政策課長の林です。今先生からご意見いただきました件につきましては、イベントの時に合わせて利用者に向けてアンケートを取っており、そこで外部の方も多くいらっしゃる想定ができますので、一度そこに項目として加えるような形で検討したいと思いますので、よろしくお願ひします。

(鬼頭委員)

鬼頭です。今の資料で、住民基本台帳から無作為抽出して書いてありますが層化抽出ですよ。層化抽出した場合の各クラスターごとの分析結果っていうのは、集計結果っていうのは公表されるんでしょうか。

(市江主任)

地区ごとでクロス集計もさせていただくので、そういった結果は報告書に載ってくるかと思います。

(加藤副会長)

属性を聞いておりますので、どういう形でも集計して分析できると思うんですけど、先ほど山田さんからもご質問あったように、地区ごとで、旧町ごとで見るとっていうのは、意味があることだと思います。

ただ、どうなんでしょうね。実際に交通の面で見たときに、旧町で見ることが本当に適切なのかわかっていうのは、ちょっとそこも心配な部分ありますね。例えば、東海道線より東か西とかね、そういう分断されてるところの両側だったら全然違うだろうとか、そういうことは考えられます。

なので、合併してかなり年月が経ってあしがるバスもこうやって同じようにとは言わないんですけど、この4町を跨いで走ってきた中で、一体この各地区ごとでどういう違いが出てきたかっていう見方もちょっと考え直していかないといけないのかなと思います。定番として旧町ごとにはやるんだけど、本当にそれでいいのかどうかっていうのは、住所はここでデータとしてはもうあるわけなので、ちょっと場合によってはどこから東とか、どこから北とか南とか、そういうのをやらなきゃいけないことになるかもしれません。何かそれが意味がある結果だとしたら、報告書にも出てくるかもしれない。そういう感じかなと思います。

あとは皆さんがこういう集計したらどうですかってことを言うていただくやれることかなと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。その他に、委員さん、よろしいでしょうか。それでは、報告事項については、これで終わります。

2 議事〔協議事項〕令和5年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について

(前田会長)

引き続き、「協議事項」に関する議事に移ります。

今回の協議事項は、次第にありますとおり「令和5年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について」を議題とします。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

(市江主任)

【資料3を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(鬼頭委員)

順番が変わっちゃって申し訳ないですけど、ちょっと失礼します。

資料の2-2のアンケートなんですけれども、まず、フェイスシートを冒頭に置くことは社会調査ではタブーです。次に、フェイスシートのところに郵便番号って書いてありますが、これ入れちゃうと、大きな街ならともかく、清須市という狭い地方都市では個人が特定できてしまう可能性があるんですよ。

さらに、この資料を行政の方としては、シミュレーションしておけば、それこそアンケートを送付していい住民、アンケート送付NGの住民という区別が意図的にできてしまう可能性があります。

だから、もしこれを付けるのであれば、例えば、ハイフンの右側の4桁部分のうちの上2桁だけとかね、あるいはもう一つはプライバシーポリシーを明確にここに書いておくとかしておかないと、ちょっとまずい

んじゃないかと考えます。

これはそのあとの一番最後のはがきのところも同じなんですよね。資料2-3の後ろの裏のところです。

(市江主任)

今、特定されてしまうのではないかというご意見がございましたが、この郵便番号を聞いておかないと、地区別の集計がちょっとできなくなってしまふものですから、こちらは聞かざるを得ないところかなと思います。

また資料2-2のアンケート調査の表紙のところに、段落でいうと3段目になりますが、「ご回答いただいた内容は、統計処理のためのみに使用する」という文言を書かせていただいているので、ここでご理解いただけたらなと考えております。

(鬼頭委員)

意図はわかります。ただ、さっき言ったように特定しないために、あるいはアンケートを答える人が安心して答えられるために、例えば郵便番号のハイフンの右側に関しては、4桁の数字に関しては、上2桁だけを書かせて下2桁は書かせないことにするとかね。もう下2桁を塗りつぶしちゃってるんで上2桁だけ書くとか、いろいろ方法は取れるんじゃないかと思います。それだったら地域分類ができますから。4桁まで書いてしまうと非常に細かくなっちゃうんですよね。そういうことです。

(市江主任)

上2桁までというご提案があったんですけども、上2桁までにしてしまうと09もしくは00しかなかったような気がするので、そういったところで、地域の分類や地区別の分類ができないことになってしまうので、難しいかなと思います。

(鬼頭委員)

何か他にいい方法はないですかね。

今までいろんな調査をしてきましたけども、フェイスシートに郵便番号を書かせるっていうことは一度もやったことはないですし、学生からのレポートに対しても、フェイスシートが冒頭にあったりこんなのが入っているとペンディングしてたんですね。それはどうなんでしょうってことが私の意見ですがいいですよ。

どうせ私の発言なんてのは、議事録にも全面カットされるようですから。どうぞご自由にとということで。

(林企画政策課長)

企画政策課長の林です。今の鬼頭委員がおっしゃったご意見ですが、先ほどの地区を旧町以外の分析であったり、そういったところでは、できればこの郵便番号の右側4桁っていうのも入れて、今後の分析等をしていきたいと考えております。プライバシーの関係もございますけどもここに関しては表紙のところで、調査結果に関してはこの目的のみ使用

するというご理解いただくということで、これは入れさせていただきますと考えております。よろしくお願いいたします。

(加藤副会長)

今の郵便番号ですけど、この分野だと使えることは結構あるかなと思います。どうしても位置が非常に大事な調査なので、これやらずに例えばメッシュといい、地図を縦横に置きまして、ここに住んでるからここは例えば10番だとか、20番だとかっていうのを書いていく。そういうのはいろいろあるんですけど、メッシュだとどうしても住所と複合しないんで、メッシュの方がいい場合もあるんですけど、さっきの何とか地区とかってなった時には、郵便番号ってのも有力なやり方だと思います。

それで、プライバシーの件は、まずよく言ってるのは、こういう調査だと、いわゆるプライバシー的な、住所だとか、年齢だとかっていうのは一番最後に持ってくるのが基本で、一番最初に聞くと、それを見た時に答えたくない人が出てきて、回答率が下がるっていうことが一般的に言われるので、最後に持ってきて、最後のところにそれが出てきたらもうそれは書かないっていう人が一定数います。

非常に気にされる方はそういうふうには書かないで出される方がいるということだと思います。

今郵便番号を確認しましたが、西枇杷島が00ですかね。それぞれ、下1桁まで書かないとしても、ちょっと粗いんですけど分類できるかもしれないなと思うんで、確認して、どのぐらいまでのことがそもそも必要なかっていうことに対して、聞いていけばいいんで、これが抵抗あるんだったら、もうちょっと小学校区で聞くとかそういうこともあるのかなということだと思います。

あと、もう確認なんですけど、この郵便番号は、住所をある程度知るためにやるわけですけど、抽出のその単位ってのは、旧町単位とかでよかったです。

(市江主任)

旧町単位の抽出となっております。

(加藤副会長)

これは小学校区単位ぐらいにしといた方がよくないですか。そこまでやるとあまりにも細かいですか。

(市江主任)

抽出の仕方については、一度検討したいと思います。

(加藤副会長)

もし、後で分析するときには小学校区単位で、ある小学校区は少ないとかいうことになっていると、やり直しは効かないんで、そのぐらいのところはきちんとある程度は取っておくとかってのは必要かもしれないなと。

あとは、やり方的には2000人取るんだけど、そのサンプル抽出する時に、どこかのところが例えば50より下回っていたら50まで行くまでやり続けるとかね。そうすると、最低でもどの小学校区でも50以上とか、そういうやり方もあるのかなと思います。

いずれにしてもちょっと非常にこのあたり大事なところっていうか、その結果をどういうものを作るかっていうのと、その答えていただく方が答えやすいかどうか、このバランスなんで。これは塩士さんも詳しいところだと思いますので、ちょっときちんと確認してやればと思いますのでよろしくお願いします。

(前田会長)

他に委員さん、よろしいでしょうか。

(加藤副会長)

これ事前に打ち合わせしたときにも伺いましたけど、新清洲駅のこの乗り入れで、便利になったという声も届いておりっていうのは、何人届いてるのかなと。ある個人が便利になったってだけであれば、それをここに書くと針小棒大かなと思います。

あと1.5倍になってるってことですけど、例えばその場合、フィールドに行ってた人はどのぐらい減って、逆に新清洲駅から乗りかえる人がどのぐらい増えたかとか、そういうことがむしろ知りたいところで、フィールドがきちんと確保され、それから地域の皆さんもあまり変わらないけど、新清洲駅から降りてきた人が乗ってくれると、それから、そういう方は一体どこに乗り換えていかれるのかがやっぱり非常に知りたいところなんで、がさっと駅に乗り入れたら利用が増えるってだけだとちょっとやっぱり粗い分析かなと思います。

これこそ新しい計画に向けた調査でちょっとやってかなきゃいけないのかなと思いますので、そもそもこの議題って、通常は1月ぐらいにある議題で、今日は出てきたときにたまげました。10月にこれが出てきたってのは。これは9月までの結果なので、10月になったら一応データが集計できればできるんですけど、かなり早い段階でこれ出てきたから、といっても9月までが集計できればこれでいいんですけどね。

ただ、今のような、この新清洲駅北口のこの見せ方が、ちょっと浅いなというふうに思えるんで、1月までに間に合わせるとかそういうそこまでは言わないんですけど、やはりこの中身をきちんと見ていきたいなと思いますので、これはこれからの調査の中で考えていただきたいと思います。

今現状わかんないですか。

(市江主任)

日々の日報の方から乗車数と降車数のみの数字でしか把握していないものですから、そこから、鉄道に乗り換えられるとか、フィールドに行かれるかっていうところまでは、分からないところになります。

(加藤副会長)

あの停留所って駅から乗り換えには便利ですけど、それ以外は不便になってますよ、正直。

もともと駅から乗り換えてる人が多いんだっただらば、みんな便利になったということなのかもしれないですけど、単純にこれが1,000が1,500になったっていうのが、同じ1,000はそのままで500が増えたのか、実は今までの1,000はどっか行っちゃって、1,500ってなっていると思ったら、実はその1,000の人たちをないがしろにしたことになるじゃないですか。そういうことになってないかどうかは気になったということです。

となるとこれは事業者さんがその雰囲気わかんないかなっていう、そういう話も出てくるんです。

(大島委員)

つばめ自動車の大島と申します。新清洲駅の北口のバス停の件でお話が出ておりましたが、実際のところですね、グリーンルートが新清洲駅の南口に入っております。

そちらはですね、今までですと、結構満車になってしまって、追加のタクシーを出してるっていうのがかなりございました。それがこのサクラルートが北口に入ることになりまして、かなり追加のタクシーを走らせるということが減りました。これは事実としてございます。

(加藤副会長)

そこが大事だと思います。

(鬼頭委員)

鬼頭です。今の話とちょっと全然違うレベルの話ですけど、新清洲駅北口に入っていく丁字路に信号がないんです。結構危ないんですね。特に駅側から出てきた場合に、右側から来る車が下り坂を走ってくるので、結構なスピードが出てくるんですよ。

だから、信号を付けるにしてもちょっと近くに信号があるんで、なかなか付けられないし、だけど、このままだといずれ事故が起きるんじゃないかということのを危惧して何かいい方策はないでしょうかということです。

(林企画政策課長)

今いただいた意見につきましては、今回の公共交通会議の場ではなかなか検討というのは難しいものですから、今回そういったご意見があったということで、所管部署の方に情報提供はしたいと思います。おっしゃる通り信号の位置であったりとか、間隔であったりとかという条件がいろいろあると思いますので、そこに関しては、所管部署の方に情報提供した中で、どういうふうにしていくのが一番良いのか、検討いただこうかなと思っております。

(前田会長)

ありがとうございました。

他に委員さん、よろしいでしょうか。
ご質問も無いようですので、ここでお諮りします。
本件に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。
それでは、これで協議事項の議題を終わります。

3 その他

(前田会長)

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。
慎重にご審議いただきありがとうございました。
ここからは、次第の「3 その他」に移ります。
事務局から報告事項がありましたらお願いします。

(市江主任)

事務局から1点ご連絡させていただきます。
本日協議事項の中でもご説明させていただきましたが、中部様式につきましては、支局の方から通知があり次第修正された様式に合わせた形で提出させていただきますのでよろしくお願いいたします。
事務局からは以上です。

(前田会長)

最後に、この他のことで、何か委員の皆様からございますか。

(石屋委員(代理))

愛知県交通対策課の赤羽と申します。
愛知県から2件情報提供させていただきます。皆様のお手元に2種類パンフレットをお配りしてございます。
まず、M a a Sの実証実験についてでございますが、本県ではジブリパークの開園を見据えまして、M a a Sの実証実験を2021年度より行っております。今年度は2月15日までの5ヶ月間、トヨタファイナンスサービスが提供するアプリ「my route」を活用しまして実施をしております。
今年度の実証実験では、アプリ内で購入できる交通券、それから観光施設のデジタルチケットをはじめ、各種サービスの拡充を行っております。配布させていただいておりますチラシにQRコードが載っておりますので、ぜひダウンロードしていただき、ご活用いただきますようお願いいたします。

あともう1点ですけれども、エコモビ実践キャンペーン2023についてでございます。本県では、車と公共交通、自転車などを賢く使い分けるライフスタイル、エコモビリティライフを県民運動として推進をし

ております。その一環といたしまして、県内の事業団体の皆様に、エコ通勤をはじめ、エコモビに積極的に取り組んでいただくキャンペーンを実施しています。皆様方におかれましても、ぜひご参加いただきますようお願いいたしますとともに、企業団体の皆様への参加の働きかけ等にご協力いただきますようお願いいたします。私から以上です。

(前田会長)

その他、よろしいでしょうか。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。

よろしく申し上げます。

4 閉会

(神野課長補佐兼企画政策係長)

それでは、これもちまして、令和5年度第2回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日はご出席いただき、ありがとうございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3214
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 加藤 榮子

署名委員 鬼頭 恒雄